

山崎研究室新聞

— | | | | 五年夕刊

発行
電気通信大学 山崎研究室
住所 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
電話 042(443)5000 (代表)
編集人 山崎匡
定価 無料

前に進めさせるための業務が数多くある。なお本夕刊から原稿書きにも参加する。

岩田の後任探しはかなり苦戦したが、西4事務の方と専攻事務の方のネットワークにより奇跡的に宮寺を採用することができた。その節はありがとうございました。無事に研究室が回っています。

【お詫び】 編集長より

山崎 匡 (PI)

学位の予備審査と SC'25 発表準備のため、栗山さんの記事はありません。私もあんまり書いていません。昼間の仕事をの関係で、井浦さんの記事もありません。

【広報】 SC'25 プレスリリース！

山崎 匡 (PI)

二〇二五年夕刊

SC'25 の成果をプレスリリースする」とした。大学からプレスリリースをするのは 10 年ぶりで、前回は PNAS に掲載された「小脳運動学習における記憶定着の理論」だったので、10 年間で研究テーマの変遷ぶりに戦慄する。共著者 Anton Arkhipov 博士 (Allen Institute) に話したところ彼も乗つてたのじ、Allen Institute と共同のプレスリリースとなつた。

日本のプレスリリースはいかにも説明という内容・形式だが、Allen Institute の PR チームが作成してたのはいかにもアメリカらしくナラティブな読み物じ、Anton と私のコメントをうまく組み込まれてたのも良かつたのじ、それを忠実に翻訳し体裁を調整して国内版を作成した。“God is in the details, so in the biophysically detailed models”は私の最近の信念。

同時に公開した動画は Anton と共同研究者の Barry Isralewitz 博士 (University of Illinois at Urbana-

Champaign) が彼が開発した可視化ツール VIND を駆使して作つてくれたもので、こんな映像見たことない！

と関係者全員驚嘆した。特に皮質の裏側が可視化されたのは今回が初。なおニューヨンの向きのデータはうちの秋良さんが Anton 達と一緒に作成したもので、とてもうまく意思疎通ができていた。

AMED と調整してたのじ、「デジタル脳」プロジェクトの助けになればなお良じと思へ。

【人事】 研究支援員の交替

山崎 匡 (PI)

これまで 9 年半にわたり研究室の運営をサポートしてくられた岩田麻央の後任として、9 月に宮寺由紀子が着任した。やつそく書類の洗礼を浴びて（浴びせて）いる。10 月末、

11 月前半は酷かつたですね。

研究室運営のサポート要員としては、大抵は事務補佐員

(いわゆる秘書) を雇用するのだと思うが、山崎研では研究支援員 (といふカテゴリの技術スタッフ) を雇用することにしている。我々が繋がつているのは研究という一点のみなので、研究から切り話された事務仕事専門の人は容易に孤立してしまう。また実際に技術的な

支援も必要とする。例えば新人のクラスタ計算機へのアクセス登録とか、新しいマシンを買ったときの最初のセッティングとか、LaTeX の原稿の調整とか、まだ頼んでいないが学生のコードのデバッグの手伝いとか、研究を前に進み、十分な栄養を取り、生産的な活動に取り組み、夜は寝る」という 1 口を繰り返すことがでてますが、いじに

【学術】 論文 2 本出版！

山崎 匡 (PI)

Rin Kuriyama, Hideyuki Yoshimura, Tadashi Yamazaki. A theory of cerebellar learning as a spike-based reinforcement learning in continuous time and space. PNAS Nexus, 4(10): pga302, 2025. (10 pages).

Tomohiro Mitsuhashi, Yusuke Kuniyoshi, Koji Ikezoe, Kazuo Kitamura, Tadashi Yamazaki. A spiking network model of the cerebellum for predicting movements with diverse complex spikes. Neural Networks, 193, 107962, 2025. (11 pages)

【生活】 全ては生活の上

秋良 花綾 (特任研究員)

いんにちは、ボスドクの秋良です。修士から電通大に来て、なんとかけば山崎研究室にお世話になって 6 年目となつてます。今回は SC'25 での発表があり一区切りとこうタイミングなので、今までの振り返りをしようと思います。

いの 6 年で得た最も大きな気付ちは「全ては生活の上」です。研究も、家族や友達、趣味も全て、生活の上に乗つてたので、なんとかけば山崎研究室にお世話になって 6 年目となつてます。今回は SC'25 での発表があり一区切りとこうタイミングなので、今までの振り返りをしようと思います。

至るために20代を使つたと言つても過言ではありません。

学部後半から修士前半は、自分を労り生活するという発想が全くなく、自分に厳しくすればするだけ良い結果が得られると考えていました。厳しくできないことは恥ずべきこと、厳密な効率化の果てに望む成果（成績や成果、良い人間関係など）が得られると完全に信じていました。

今になつて思うとこれが全くの誤りでした。昔の私の思想は心身の健康に悪いですし、何より負のループにはまりやすい。「思想が不健康なので体調を崩す→体調を崩しているので結果が得られない→結果が得られないのでより自分に厳しくする→体調が更に悪化する…」というループに入ります。

現在の山崎研の「研究室の決まり」には「人としての義務を果たす（良く寝る、栄養を取る、運動をする）」がありますが、これは私の惨状を見た先生が入れたのではと予想しています。人間性を捨てて1日18時間作業した後2日寝込むより、1日6時間を調子のいい状態で3日続けるほうが明らかに精度の高い作業ができます（言うは易し、行うは難いのですが…）。まずは人間らしい生活をすることは重要で、その後にどういう方法で取り組めば成果が出るかを検討・改善していくのが正しい順番だったのです。

一方で、真面目に「人としての義務を果たす」とは意外と大変です。栄養のある食事を現実的な手間と価格で得るのは工夫が要りますし、授業や出社の強制力なしに起床・就寝の時間を固定し続けるのは難度の高いタスクです。洗濯や掃除といった家事も地味に心身のリソースを食います。これまで簡単で優先度が低いとみなしていた生活タスクの認識を改め、「どうすれば無理なく続けられるか？」を試行錯誤した結果が、現在だと考えています。生活の効率化については先人が多く、非常に助かりました。

こうして生活という土台が整つたことで、心身を壊しがちな博士課程や長期プロジェクトを続けられたのだと思い

ます。

そのように辿りついた現在では、D2から取り組んでいた生物物理学的ニューロンのシミュレータ開発がプロジェクトとして大きくなり Neulite へ、更に Allen Institute へと共同研究となり、最終的に SC'25 の発表に繋がつたこと本当に嬉しいです！

SC'25 関連の作業では、Allen Institute が持つマウス全脳皮質の約 900 万ニューロン、約 260 億のシナプス接続を持つ巨大な生物物理学的ニューロンのネットワークのデータを触らせてもらひながら、メールで海外の研究者の方とコミュニケーションを取るなど、大変に貴重な経験をさせて頂きました。主に私は Neulite でこのデータを使うための前処理や、それぞれのニューロンに向きを付与する作業等を行いました。メモリに乗るか？ 処理時間は許容できる時間か？ など、データが大きい時ならではの体験ができて非常に勉強になりました。

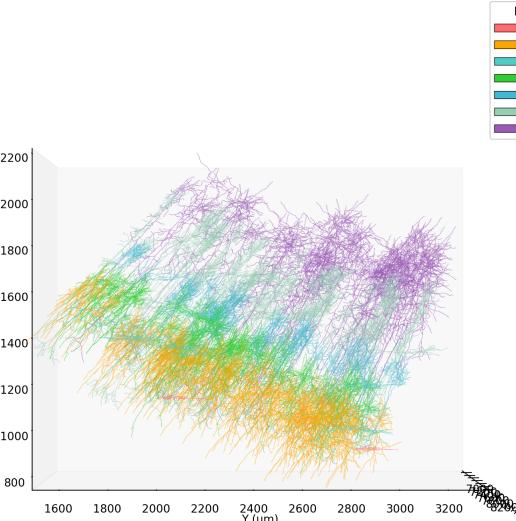
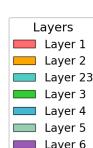
また大規模データは確認作業が大変で、脳領域別に様々な角度からニューロンをプロットして画像にすると、1試行に対し数百枚が生成されます（図参照）。1枚ずつ見えて何がなんだかよくわからなくなつてきます。最終的には、仮説レベルでの観察や分析もしつかり記録として残すことで、どうにか最後までやり切ることができました。この

成果を用いて Allen Institute の方が作つてくださつたマウス全脳皮質の動画は、どうかで公開されていると思うので是非見てください。とてもかっこいいです。

最後に、私はかなり場当たり的に博士課程まで進んだに

と思います。

読んで頂きありがとうございました。読んでくださいました方も、良い生活と研究ができる」とを願つております。



【AI】精度の高い機械学習モデルを作る

國吉祐輔 (D2)

はじめに

ここにちは、D2の國吉です。私は Kaggle というデータサイエンスのコンペに参加していて、今年9月に2枚目の銅メダルを得ました。Kaggle Expert になりました。このメダルはほぼ運ですが、これまでにいくつかの機械学習モデルを構築する中で、「精度の高いモデルを作ることに重要なこと」が少し見えてきました。私自身まだ初心者なので、実力者からすると当たり前の話かもしれません。ありがとうございます。中高生の頃から興味のあつた脳科学の研究に関わり、博士まで取れて、このようなプロジェクトに参加できて、大変な幸運に恵まれました！ 今が、今回はその気づきをまとめたいと思います。

1. ルールベースこそが最強のモデル

結論から言うと、「全部を機械学習にやらせない」これが非常に重要な考え方です。機械学習モデルはブラックボックスなので、なぜその予測になつたか直感的にはわかりません。一方、ルールベースは100%決まつた動きをするので、その挙動を完全に理解できます。極端に言えば、ルールベースだけで解けるならそれが理想ですが、そうはいかないので機械学習を使います。ただし、前処理と後処理といったルールベースをできるだけ広く使い、機械学習部分の割合を減らすことが大事という考え方は忘れてはいけません。

2. 前処理・クラス内を揃え、クラス間を離す

前処理の目的は2つあります。クラス内分散を小さくする（同じクラスは似た姿にする）クラス間を綺麗に分けてもらおうお膳立てをするまず、「クラス内分散を小さくする」の説明をします。例えば、分類タスクでは、モデルは特徴空間上にクラス境界線（決定境界）を引きます。しかし、ノイズサンプル（例：本当はクラス0だがクラス1の特徴に見える）があると、境界線が複雑化し、誤分類する可能性が高くなります。1クラスを特徴空間上でひとまとまりにできれば理想です。これを達成するには変なサンプルが少數なら削り、多数なら正しくなるように修正する明らかに間違っているラベルを修正するといった前処理を入れることが効果的です。

次に「クラス間を綺麗に分けてもらおうお膳立てをする」の説明をします。サンプル数が少ないと、モデルがクラス境界を「変な位置」に引いてしまいがちです。例えば、クラス0のギリギリのラインにクラス境界線が引かれ、本来特徴空間上でクラス0に属する領域が別のクラスに割り当てられるといった感じです。これには、Data Augmentationが非常に効果的です。適切なData Augmentation方法を選択し、データを増やすと、「この辺はクラス0」「この辺はクラス1」という領域がはつきりし、安定した境界が引

3. 後処理：ありえない出力を修正する後処理でやるべきことは、機械学習モデルが出した「変な予測」を人間の知識をもとに直すことです。例えば、ある特徴量がAならクラスは0か1、特徴量がBならクラスは1か2という構造がわかっている場合、モデルがそれを外れた出力をしていたら修正します。

「」でポイントになるのは、少数派の例外が存在しても、切り捨てるに精度が上がることがあることです。例えば、ある特徴量がAのとき、クラスはほぼ0か1だがクラス2、3、4も少しだけあるとします。大抵の場合、機械学習モデルは精度100%を達成しなくて良いので、「例外的なケース」は無視する判断もあり得ます。しかし、実務では簡単に切り捨てられないケースも多いです（特にFinTechは顕著）。「」がKaggleと実務の大きな違いだと感じています。

4. 前処理・後処理を意識して図を作る

もちろん、今までに説明したようなデータの構造は説明書には書いていないので、大量に図を作り、データがどういう構造を持つか調査します。「」が探索的データ分析(EDA)の目的であると私は考えています。決してなんとなく図を作るのでなく、前処理や後処理を意識した仮説から図を作ることが大事です。そう考えると、作るべき図もおおよそそ決まっています。分類タスクの場合、僕は大体以下のようないくつかのEDAを行っています。数値特徴量 → クラス別ヒストグラム、クラス別箱ひげ図、基本統計量(pandasのinfoメソッド) ユニークな要素数が少ないカテゴリ変数 → クロス集計表ユニークな要素数が多いカテゴリ変数 → ある程度グループ化してクロス集計表、クラスを一意に特定できそうか調査画像 → ひたすら目視し、クラスごとの共通点を考え、適した画像処理をかける（良い方法があるなら教えてほしい）。

【歴史】配属から論文が出るまで

終わりに Kaggle やその他もろもろの機械学習モデルの構築経験を通じて、「機械学習モデル単体ではなく、その周辺の工夫が精度を上げる」という本質がなんとなくですが、理解でききました。機械学習の精度に悩んでいる方に参考になれば幸いです。Kaggle に興味のある方はぜひお声がけください。一緒にやりましょう！

研究室在籍も早い」と、はや3年目となりました。M2の三橋です。今年の8月に論文が出ましたので、そこまでの経緯を振り返ろうと思います。（論文の内容については書きません。）

浪人していた時にたまたま予備校で山崎研究室のチラシを見ました。当時は、全然電通大志望ではなかつたのですが、記憶に残つていました。（センターで大コケして電通大志望になつてしましました。今思えば神様がセンター試験で私を大コケさせたという解釈でいいでしょ。）

入学してから、チラシのことを思い出し、学部1年生でも卒研の説明会に潜れそุดつたので潜つてました。が、レベルの高さに絶句し諦めました。私、成績はそれなりにいい方でしたが、それでも絶句しました。この段階で一旦諦めます。

それから、もう山崎研究室に自分はお世話になることはないだううと思つていたのですが、思わぬきつかけで再戦を申し込むことになりました。というのも、2年生になつて、友達に誘われ情報工学工房を受けることにしたのですが、たまたま山崎先生の枠がこの年から復活していたのです。かねてから興味がありましたので、私はせめて、工房だけでも…と思ひそちらに希望を出し、1年間受講いたしました（ちなみに、私を情報工学工房に誘つた友達は結局受講しませんでした）。1年間それなりに頑張りましたが、

大したことはできませんでした。確かに、ニューヨークの結合を予測する機械学習モデルの構築だつたと思います。

情報工学工房の実験が上手いかなくて憔悴していたのですが、このタイミングで今年8月に出した論文に関わる研究をしてみないか? とお話をいただきました。当時は非常に迷惑をかけてしまうと思ったので迷いましたが、私はとりあえずやつてみるかというノリで挑戦いたしました。2年生の春休みに進め、前期は一旦休止し、3年生の後期から再スタートして進めていったと思います。このタイミングで卒研配属があつたので、希望をそのまま出させていただきました。継続して研究を進めます。

晴れて配属が決定した後、特に4年生の頃はなかなか狂つた回数シミュレーションを回していました。1年間で小脳のスパイキングニューラルネットワークのシミュレーションを回した回数ギネス記録があつたら確実に入つていると思います。それぐらい回しました。

そこからは論文を書いたり、再実験の日々が続きました。そして論文を出すことができた次第です。実際、先生や研究室の皆様にすごいサポートしていただいたので、感謝の思いで尽きません。ただ、論文を0から投稿するまでの流れを一通りやることができたのは自身の成長に繋がつたと思ひます。次はなるだけ自力でやれるように頑張りたいと思つております。

こうして振り返ると、自分のこれまでが線で繋がつているというか、運とタイミングで生きているように見えます。「幸運の女神は前髪だけしかない」というようにその前の前髪をちゃんと掴めていたのかもしれません。その時の勢いでやつてることが、私自身多いですが、より飛躍できるよう頑張つていきたいと思います。

【地理】ナポリの男たち

若杉 奈々子 (M2)

卒業するため、今回でこの研究室新聞への投稿も最後になります。ですので、少しだけこの研究室の感想という名の自己語りを挟ませてください。研究室に配属されてから3年時が経ちました。配属された当初は、自分がこの研究室で3年間ちゃんとやつていけるのかとても心配でした。当時を振り返ると、正直見栄を張つて入つたみたいなどころもあつたなと思います。最初のセミナーの時は、まるで同期全員すごい優秀そう…とか思つてました(先輩方はラスボス前の城にレベル不足の防具で入ろうとする気持ちになつていきました。ボス前セーブしたつけ…みたいな。あと同期全員すごい優秀そう…とか思つてました(先輩方は「うまでもない」)。そんな刺激的な環境だつたからこそ3年かけて急激に成長できたのだと感じています。あとは無事に修論を書き上げて卒業するだけとなりました。今回修論を書くのが6人もいますが、全員で無事に卒業できるといいなと思っています。

さて本題です。最後の研究室新聞ということで、何にするかとても迷つたのですが、私がかれこれ7年ほど追いかけているグループ、「ナポリの男たち」(以下書きやすさのためナポリと略す。)について書いていこうと思います。ナポリの男たちは、2016年に結成したゲーム実況者グループです。ゲーム実況とは、プレイヤーがゲームをプレイしながら、その様子を配信したり動画として公開したりする動画ジャンルのことです。今や一大コンテンツとなり、芸能人でもゲーム実況を始める人が増えています。そしてナポリのメンバーは、ジャック・オ・蘭たん、すがわ、hacchi、shu3(敬称略)の4人で、それぞれゲーム実況の黎明期から活動している「長寿(?)」実況者です。ナポリの主な活動として、土曜夜10時のチャンネル放送、大型連休ごとのゲーム実況生配信が挙げられます。また、去年ついに地上波のFMラジオに番組を持ち、毎週土曜深夜1時から「ナ

【音楽】シヨスタコーヴィチの魅力

向田 健紀 (M2)

こんにちは。修士2年の若杉です。私は今年で大学院を卒業するため、今回でこの研究室新聞への投稿も最後になります。ですので、少しだけこの研究室の感想という名の自己語りを挟ませてください。研究室に配属されてから3年時が経ちました。配属された当初は、自分がこの研究室で3年間ちゃんとやつていけるのかとても心配でした。当時を振り返ると、正直見栄を張つて入つたみたいなどころもあつたなと思います。最初のセミナーの時は、まるで同期全員すごい優秀そう…とか思つてました(先輩方は「うまでもない」)。そんな刺激的な環境だつたからこそ3年かけて急激に成長できたのだと感じています。あとは無事に修論を書き上げて卒業するだけとなりました。今回修論を書くのが6人もいますが、全員で無事に卒業できるという実感を与えてくれます。これは配信者の雑談放送に近いものがありますね。その中でも、長い付き合いから生まる遠慮のないバトルが私は好きです。特に食べ物に関して争いをする回は、非常にみみつちいことをずつと不нич言つてます。「おでんとライスを食うの?」とか「ミヌードドーナツ以外を買うやつがあるか!」とか…。こういうしょーもないことで10分以上ガミガミ言い合つてゐる姿を見るだけでも、普段の疲れを癒してくれ、そういうグループです。元気な時に見てもいいですが、なんとなく疲れが溜まつてきた時、少し教室の隅に行きたい時に、おすすめしたいグループです。

私がナポリを推す理由は、「疲れに効くから」です。例え

るなら、「教室の隅でひつそりと、しかし楽しげにアニメや漫画の話をしている4人組の陰キャ男子高校生」みたい

なグループです(全員アラサー/アラフォーのおっさんです)。自分も割と教室の隅にいたタイプだったので、そんな

や漫画の話をしている4人組の陰キャ男子高校生」みたい

なグループです(全員アラサー/アラフォーのおっさんです)。自分も割と教室の隅にいたタイプだったので、そんな

ドニートリー・ショスタコーヴィチって、私にとって「人間くさい天才」の代表みたいな存在です。20世紀のクラシックの大作曲家っていうと、なんだか遠い世界の人に感じがちですが、彼の音楽を聴いていると、「い」の人、本気で悩んで、体制に本気でビビってたんだろうな」と伝わってきます。妙に身近に感じてします。

彼が生きたのは、帝政ロシアの終わりから、ロシア革命、スターリン時代、第2次世界大戦、冷戦と、激動の時代でした。その中で作曲家として生きる、しかもソ連という超管理社会の中です。彼は1936年にオペラ「ムツエンスク郡のマクベス夫人」をスターリンにボロクソに批判されてからは、「いつ連れて行かれてもおかしくない」緊張状態で暮らすことになります。家の前にスツーケースを置いて寝ていた、なんてエピソードも残っているくらいです。

そんな環境で書かれたからこそ、ショスタコーヴィチの音楽には「二重の顔」があります。表向きは「ソビエト万歳！ 前向き！ 勝利！」みたいに聞こえるけれど、その裏側には、恐怖や絶望、静かな反抗が潜んでいます。

その代表が交響曲第5番です。公式には「批判への模範的な回答」とされていて、最後は明るい二長調で大団圓っぽく終わります。でも、テンポは妙に重くて、同じ音型が何度も何度も叩きつけられる。「喜んでるんだろ？ ほら笑えよ！」と強制されているような、そんな息苦しさがあります。

交響曲第7番「レニングラード」は、一転して超ドラマチックです。ナチスに包囲されたレニングラードの中で書かれ、街で初演されたというエピソードも含めて、もはや一本の映画みたいな作品です。有名な「侵略の主題」は、少しづつ音が増えていく単純な行進曲なのに、繰り返されるうちにだんだん気持ち悪くなつてくる。「悪つて、意外とこんなふうに、単純で、機械的で、止まらないものなのかもしない」と感じさせられます。生で聴いたときは、鳥肌

が止まりませんでした。

こんなことを書いているし、ショスタコーヴィチって、暗くて重い人…というイメージを持たれるかもしれませんのが、実はブラックユーモアの人でもあります。変にねじれたワルツや、わざとダサい軍楽風のメロディーが急に出てきて、「絶対バカにしてるでしょ」と思わせることもしばしばあります。ただのギャグではなくて、笑うしかない状況の苦笑いに近い感じです。絶望とユーモアが同居しているところが、彼の音楽のクセになるポイントだと思います。

ショスタコーヴィチの面白さは、「この音楽の本心はどこのか？」と考えながら聴けるところもあります。表向きは体制を讃えているようで、腹の底には別のメッセージがあるのかもしれない。どこまでが妥協で、どこからが本音なのか。研究者のあいだでも意見が割れていて、「い」だ」と一言で決めつけられないところが、彼の音楽の魅力です。

私たちにはスターリン時代のソ連を知らない世代ですが、それでもショスタコーヴィチの音楽を聴いていると、「怖いのに、黙つていられない気持ち」や、「それでも人間らしさを失いたくない」という感情が、不思議と分かる気がします。きっと、ただのクラシックの大作曲家ではなく、とんでもない時代を、ギリギリのところで生き抜いた一人の人間としてのショスタコーヴィチが、少し見えてくると思います。

【健康】 重いものを持ち上げるために

米澤 政治 (M2)

の3大義務ですが何がいちばん怠りがちかと言つと、運動ではないでしょうか？ これを達成すべく私はジムに通つているのですが、続けるためにはやはりモチベーションの維持が不可欠です。そこで用意した目標が、トレーニーの登竜門「ベンチプレス 100kg 挙上」です。現在95kg (100kg 挙げてから書きたかった…）まで来たので、今回は「これまでのトレーニングの変遷について書こう」と思っています。

筋トレにおいて重量を伸ばすためには重要な要素が幾つあります。まずはセットの組み方に注目したいと思います。様々なセットの組み方がありますが最もオーソドックスなのはやはり10rep 3setでしょう。かくいう私も始めた頃はこの組み方で取り組んでいました。しかし、このセットの組み方は1ヶ月もしないうちに卒業することになります。なぜなら楽しくないからです。筋トレにおいて一番楽しいこと、それは重いものを持つ快感です。つまり扱う重量が大きければ大きいほど楽しいのです※1。ですが、このセットの組み方では10repもするため、ある程度余裕を持って持ち上げられる重量設定にしなければなりません。たとえば一発挙上の限界値 (Repetition Maximum: 1RM) が50kgだったとしましよう。この場合10repするためには重量を40kgに設定する必要があります。バーベルにつけるプレートも一回り小さくなり、テンションもだんだん下がります。また、重量を伸ばすためには高重量・低回数のほうが適していると考えられている※2ため、いの10rep 3setを続ける理由はありませんでした。

5rep 5set

いんにちは！ M2 の米澤です。今年も秋は一瞬でしたね。年々短くなつていて（と言ふか無い）気がします。こ

うも気温が急激に変化すると体調を保つだけでも一苦労です。健康を保つためには、睡眠、食事、運動（山崎研では人間の3大義務と呼ぶ）を疎かにしない」とです。さて、この

10rep 3set を卒業した私が次に始めたのは5rep 5set という方法です。この方法なら1RMに近い重量設定をしつつ、総ボリュームも確保できるため、筋力アップには非常に適し

性過負荷が管理しやすいといったメリットもあります。漸進性過負荷とは、筋力や筋肥大を継続して起こすためにトレーニングの負荷を少しづつ上げていくことであり、たとえば 60kg を 5rep 5set 達成したら次のトレーニングでは 2.5kg して 62.5kg でセットを組む、といったやり方になります。これを毎週繰り返していれば約 1 ヶ月で 10kg も重量を伸ばすことができます。これなら 100kg なんてすぐ達成できる！ なんて思っていた時期もありましたが、現実はそんなに甘くありません。この方法はマンネリ化しやすく、重量が停滞しやすいという特徴があります。実際私はこの方法で 80kg までは重量を伸ばすことができたのですが、そこで停滞してしまい、ながらく苦しみ続けることがあります。

私は脳が筋肉に支配されており、「きついほうが伸びるに違いない」と考え、スマロフ Jr. に手を出しました。しかし、やつてみると案外なんとなるもので特に怪我もなく終えることができました。始める前の 1 RM が 85kg だったのが、プログラム後にはなんと 95kg まで伸びていました。味をしめた私は現在スマロフ Jr. プログラム 2 周目を実施中。この新聞が発行されるころにはきっと 100kg を達成していることでしょう！

※1 あくまで個人の感想です。

【旅行】旅行の移動手段に船はいかが

草野貴志(M2)

5rep 5set での停滞を打ち破つてくれたのがスマロフ Jr プログラムです。停滞に悩んでいた私はネットで様々なベンチプレスプログラムを調べ、このプログラムに行き着きました。スマロフ Jr プログラムとは、ロシアの重量挙げコーチ Sergey Smolov が考案した高頻度・高ボリュームの短期

スマートアーティファクト

チ Sergey Smolov が考案した高頻度・高ボリュームの短期集中型筋力向上プログラムです。このプログラムの最大の特徴は、3週間という短期間で、週4回にわたり同じ種目を高頻度で実施する点にあります。トレーニングは1回ごとに設定された重量と回数が細かく決められており、たとえば「6回×6セット」「7回×5セット」「8回×4セット」「10回×3セット」といった構成が一週間の中で順に組されます。強度は1RMに対する割合で算出され、70%から85%と高い水準に設定されます。このプログラム

私は脳が筋肉に支配されており「きついほうが伸びるに違いない」と考え、スマロフ Jr.に手を出しました。しかし、やつてみると案外なんとかなるもので特に怪我もなく終えられました。始める前の 1RM が 85kg だったのが、プログラム後にはなんと 95kg まで伸びていました。味を始めた私は現在スマロフ Jr.プログラム 2 周目を実施中。この新聞が発行されるころにはきっと 100kg を達成してしまうことでしょう！

※1 あくまで個人の感想です。

※2 技術向上目的や筋肥大目的の場合はその限りではありません。

【旅行】旅行の移動手段に船はいかが

草野 貴志 (M2)

こんにちは、今月はゾンビランドサガ ゆめぎんがパラダイスを観ました。M2 の草野です。劇場で観て、また来たいと思える映画でした。きっと近いうちにもう一度見に行きます。さて、今回は私の旅行について書こうと思います。

私の旅行は、たいてい突然決まります。どこかのタイミングで急に出かけたい衝動に駆られ、理性より欲求が優先されます。学部生の頃は、文化祭の期間に友人を誘つて鎌倉へ行つたり、なんとなくさつぽろ雪まつりに行きたいと思えば、大洗からフェリーで北の大地を目指したり、さらには誰かを巻き込んでの旅行でしたが、卒業旅行のとき、一人で出かけることも覚えました。一人だと、一応利点はあります。満員と案内されても一人ですと言えば多少融通してくれますし、食事の席も早めに案内される。そんな些細な優越感も、一人旅の醍醐味です。

今年の夏は、一人で 0 泊 2 日の旅に出ました。福岡で

3回も利用するといった正常とは言い難い予定です。福岡滞在時間はわずか3時間。ラーメンを急いで食べ、駅に急ぐだけ。時は金なり、と言いますが、なるほど、こういうことかと身をもつて知りました。次回は、もう少し余裕を持つた旅にしたいものです。

そんな行き当たりばつたりな旅の締めくくりが、東京九州フェリーでした。フェリーに乗るのは四度目ですが、昼にバーベキューが楽しめたり、映画の上映があつたり、サウナと露天風呂付きの大浴場があつたりと、盛りだくさんなのは初めてです。とはいえ、どんなにイベントが充実しても、船酔いだけは避けられません。今回の航路ではほぼ一日船上で過ごすため、酔い止めを飲んではしばらくしてまた酔い、の繰り返し。気づけば酔い止めジヤンキーです。バーベキューの最中も、効果が切れたタイミングで肉より水平線に集中する始末。バーベキューってあんなに大変なものなんですね。大浴場も映画も、はたまた何もしない時間ですらも船上では楽しむことができます。でも、この一人旅では、観光らしいことはほぼしていません。食べ、会い、帰つただけ。もつと上手い過ごし方はあつたでしょうが、個人的にはこういう忙しいだけの旅も嫌いではありません。

いつかいろんなものに余裕が持てるようになつたら、離島行きのフェリー や飛鳥 III にも乗つてみたいと考えています。なんなら吠えて、狂つて、叫ぶ経験をして南極にもいつか行つてみたいのです。船酔いだけではなく、陸に上がつてからの陸酔いまでセットでついてくるかもしれませんのが、まあ、それも含めて旅行なのだと思います。もし自分が三半規管に自信があり、ゆつたりとした時間を過ごしたいと考えているのでしたら船を利用した旅行も計画してみてはどうでしょうか。

を始めた理由は評判が悪いからです。「キツすぎる」・「疲労が抜けなくて怪我する」といった声が散見され、このプログラムの過酷さを物語つっていました。しかし、このときの

今年の夏は、一人で0泊2日の旅に出ました。福岡でラーメンを食べ、山口の友人に会い、再び福岡に戻つて東京九州フェリーで横須賀へ向かうという、新幹線を1日で

【習い事】人による演奏の価値

井上 充 (M2)

どうからドラムのレッスンを受けており、毎週出される課題曲を聴き取り、譜面に起こし、次のレッスンまでに演奏できるよう準備するという生活を研究の合間に続けています。その中で、ドラマーを含めたプロの演奏家がなぜ必要なのかを考えた事があつたので思つた事を色々書いてこうと思います。

きっかけは、ドラムが打ち込みの課題曲に挑戦した時、打ち込みと同じ演奏をするだけならプロがいる意味がないと正論を師匠に言われた事でした。打ち込みの曲は、人が演奏するときに自然と生まれるダイナミクスが反映されていなかつたり、AメロやBメロで本来ならハイハットやライドシンバルが刻まれているはずの箇所が省略されていたりします。そのため、ドラマーが曲の構成や雰囲気に合わせて音を継ぎ足し、打ち込みが意図していた表現を解釈して再構築する必要があります。そういう調理の末、人によって再構築する価値が生まれてると思う様になりました。しかし、いざこの再構築をやつてみると難しい…。原曲の雰囲気を損なわない様なファイルを入れたりとか、2拍子進行の曲なら1拍と2拍目が意識できるフレーズにしようとする色々と考えなきやいけないし、下手にいじりすぎるとドラマーのエゴが出過ぎて曲を崩壊しちゃうからです。実際にやってみると良いアレンジが出来ない為プロの凄さを改めてそういう時に痛感します。

ドラムは簡単に始めやすい楽器ではあるもの、音の伸びをコントロールし始めると途端にギムズ楽器として化けなると個人的に思う。ドラムセットは複数の楽器の集合体なので、それぞれ固有の音色と使い分けをして演奏します。例えばクラッシュシンバルは一度叩くと空間全体に音が広

がるので一度叩くだけで簡単に拍子を挟んだ音の伸びを出せますが、スネア、バズドラムなどは比較的すぐに減衰してしまうので、音を伸ばしたいときはロールなどして音を伸ばしたりします。この様にして楽器の使い分けをしています。

ビートの基盤はスネアとバスドラムであり、先ほども述べた様に音の伸びは比較的短いものたちになります。その

ためテンポに合わせて音の繋がりを意識して演奏します。例えば、あるシンプルな8ビート(4/4拍子の1小節に8つの8部音符が刻まれてる)「ドン・タン・ドド・タン」というフレーズがあるとします。ここで「ドン」と「タン」は4分音符、「ドド」は8分音符です。このフレーズをBPM190くらいで叩いた時はテンポが早いため音の伸びが減衰仕切れ前に次の音がやつて来るので連続的なリズムを感じるこ

とができます。一方で、BPM90とかでそのまま叩くと1拍の間隔が長くなり、音が減衰しきつてしまふ為連続的な繋がりが薄れてしまいます。なので、ローテンポの場合は音の連続的な繋がりを作る演奏をします。それがゴーストノートという16部音符をややかすかに聞こえる音の大きさで演奏する技術です。4分音符は16分音符が4つ入る音の長さを持つています。「ドン・タン・ドド・タン」ならゴーストノートはタンに入れます。このフレーズの場合よくあるのは「ドン・タン・・(タ) 一ドド・タン」の様に演奏します。そうするとローテンポで拍間に連続的な繋がりが生まれ、それがグルーブ感(リズムの流れやノリ)を作ってくれます。

こうした繊細な演奏を打ち込みでも再現しようと思えばできると思いますが細か過ぎて難しい。打ち込むくらいなら実際に演奏した方が楽だと思います。

現代では、楽器が弾けなくてもスマホでDTMができるし、最近ではAIに曲調や歌詞を指定するだけでそれっぽい曲が0から生成できてしまいます。しかし、人の演奏

は作り手の意図を汲み取り、どう演奏するのかを考え抜いて行われ、その表現をテクニカルなプレーを駆使して行われているのを知ると、プロの演奏家がいて然るべきだなと思いました。

【賭博】日本馬がアメリカ競馬の頂点に

村中 冬和 (M1)

ここには! 修士1年の村中です。最近は段々と寒くなつてきて、年末が近づいているのを感じます。年を重ねにつれて、行事が減ってきてあつという間に1年が過ぎていくので、この調子だと死ぬまで意外とあつという間なんだろうなと思いました。

さて、ここ最近の競馬ニュースといえば、フォーエバー・ヤングによる日本馬初のBCクラシック制覇です! 今回はこの日本競馬史に残る偉業を紹介したいと思います。まづ、BCクラシックとは何かですが、正式名称は「ブリーダーズカップ・クラシック」。ダートの本場であるアメリカ競馬の最高峰に位置づけられるG1レースで、世界のダーティ最強馬が集う一戦です。距離は約2000メートル、賞金総額は約600万ドル。このレースを制した馬は、世界のダート馬の頂点に立つたといつても過言ではないでしょう。日本にもダートレースはありますが、アメリカ競馬とは馬場の質やレースの性格が大きく異なります。日本のダーティは砂が深く、水分を多く含んでいるため、比較的瞬発力勝負になりやすいのに対し、アメリカのダートは乾いて硬く、スピードが出やすいためハイペースの持久戦になります。また、それに伴つて調教方法も異なり、日本では末脚を伸ばすための瞬発力重視のトレーニングが中心ですが、アメリカではスタートから速いラップを刻み続けるためのスピード持続力が求められます。そのため、アメリカのダートG1で勝つというのは、単に能力が高いだけでなく、全く異なる競馬文化への適応力が問われる挑戦でもあります。

日本馬のBCクラシックの挑戦は、実に29年前、1996年まで遡ります。このとき挑戦したのは芝路線で堅実に結果を出していたタイキブリザード。しかし、ここでは長距離遠征であつたことや久々のダート挑戦であつたこともあり、1着馬から大きく離された最下位入線。それでも「日本馬がアメリカのダートに挑む」という挑戦の礎を築きました。そこから時は流れ、2023年、3歳馬のデルマソットカゲが1着と1馬身差の2着に入り、日本のダート馬がアメリカで通用するというのを見せつけました。

そして、今年のBCクラシック。日本から出走するのは前年同レース3着のフォーエバーヤング。日本で東京大賞典などのダートの大レースに勝ち、今年の春には最高賞金額を誇るサウジカップで、香港の最強馬ロマンチックウォリアーを下して優勝しています。そして当レースには当地で断然の1番人気であつた、米二冠馬ソヴリンティが回避を表明したものの、G1・4勝を誇る前年当レース2着馬ファースネスや、前年の覇者シエラレオーネ、米三冠の1つであるプリークネスSの覇者ジャーナリズムなどダービーの強豪が揃っていました。そしてゲートイン。フォーエバーヤングは好スタートを切ると、好位置でレースをすすめていきました。そして最終コーナーでファースネスを交わして先頭に立ち、最終直線では追い上げてくるシエラレオーネを1/2馬身差でしのぎ切り、見事勝利を收めました。こうして、日本調教馬として史上初めて、BCクラシックを制するという歴史的偉業を達成したのです。

私の買った馬券は大外れしましたが、日本馬が勝つという快挙をリアルタイムでみられたので、大変満足でした。近年では輸送技術の進歩や、馬質の向上、調教技術の進化などにより、日本馬が海外のG1を勝つことも珍しく無くなつてきました。しかし、やはり海外の強豪を打ち破り日本馬が優勝する姿は何度見ても嬉しいものです。11月の末にはジャパンカップという、海外馬を日本に招いて行う

【知】しようもない言葉を眞面目に味わう

徳光 優斗 (M1)

こんにちは、M1の徳光です。この頃だんだんと日が短くなり、寒くもなつてきました。こんな日の鍋はいくら羽生でもゆずれないほど最高に美味しいですね。煮込みラーメンも食べたい気持ちはマウンテンマウンテンですが、今はまだ食べられていません。もう11月と聞くと時の流れは早く、1時間が60分に感じるくらいであり、年越しまでもあつという間なようです。

いじまでの表現に違和感を感じたあなたは素晴らしいです。今回のテーマはギャグ、ダジャレ、言葉遊びです。先ほどは伝わるか伝わらないかぎりぎりな表現を織り交ぜました。今回は自信の4度目の執筆となります。何かと水泳にテーマがよりがちだったので、いつもとはかなり違つた、他の方にもないであろう方向性で行こうと思います。恥ずかしい表現の連続に始まりましたが、ここまでセンスに嫌悪がない方のみ、この先へお通りください。先に言います。おそらく全体を通して、とてもくだらない内容になります。また、この記事に出てくる言葉は私が考案したものではなく、どこからか耳に入り、偶然残っていたものであります。

あることにもいじで言及しておきます。

さて、ここからは私個人が気に入った言葉について部門別ランキング形式で紹介したいと思います。まずはことわざもじり部門です。さつそく第3位の発表から行いたいと思います。第3位は、「月とスッポンポンポン」です。たつた2文字の付け足しで全てが台無しになつてている部分が評価されました。もともとは、「似ていても比較にならないほど

レースがあります。2005年を最後に海外馬による当レース制覇はありませんが、海外で日本馬が勝つたように、日本で海外馬が勝つというのもそう珍しくないのかもしれません。とても楽しみです。

感がいためランクインとなりました。そして、この部門第1位は、「50歩ヒヤッホー」です。こちらも語感がよく、少し楽しそうな響きが気に入っています。ここまでくると意味など考えなくていいでしよう。

いかがでしよう、だんだんと今回の内容が伝わってきたでしょうか。統いてはネガティブ部門です。もともとそこには伝わるか伝わらないかぎりぎりな表現を織り交ぜました。今回も自信の4度目の執筆となります。まず第3位は、「疲労ポッター」です。魔法が打てなさそうな部分がかわいですね。こちらはある配信者さんの「発ギャグ」に出てくるもので、切り抜き動画で知りました。動画内では息切れしたハリーのモノマネをされていました。続いで第2位の発表です。第2位は、「容疑者テリア」です。これをみた時、思わず目元が黒線で隠されたヨークシャテリアを想像してしまいました。悪いことをしたのでしようか? こちらもその字面のインパクトからランクインです。そしてテンポよく、1位にも移りましょう。第1位は、「過労キティ」です。あんなにも可愛らしいキヤラクターと過労という単語がミスマッチしており、この部門1位となりました。ぜひキティちゃんにはいつも元気でいて欲しいです。

さて最後はキヤラクターダジャレ部門です。よく知られているキヤラクターが登場するという少し高度なダジャレを紹介します。まず第3位は、「ジャムおじさん」がジャムを持参」です。ジャムおじさんという、そそこの長さの單語を余すことなく使つてている部分が素晴らしいです。おそらくパン工場ではなく、どこか外でパンにジャムを塗りたいのだと思いますが、幼児向けのアニメに「持参」とい

う言葉を使うのは賢明ではなさそうです。しかし、その高度さゆえにランクイン。続いて第2位は、「鱈を3万匹、マスオさん万引き」です。こちらも無駄な文字の一切ない上手さを感じるダジャレです。そして、あの人お好しなマスオさんが大掛かりな犯罪に手を染めてしまうという、有り得ない情景も相まって面白みを引き立てています。この後容疑者テリアと共に捕まってしまいそうです。ジャムおじさんを抑え、ランクインです。今回最後の紹介となります第1位は、「ジャイアン転んじゃイヤん」です。上手いより面白いがギリギリ勝つていて、その部分を評価し、今回1位とさせていただきました。これは誰のセリフなんでしょうか? イヤんという語尾にはなりますが、しづかちゃんは確かに「たけしさん」と呼ぶはずですから、別の人物が言つていそうです。2位、3位より短めで言いやすいところも考慮し、今回のチャンピオンとなりました。

研究とも関係なく、さらに役に立つ情報はおそらくなかつたですが、ここまでお読みいただきありがとうございました。忙しくしていく日常の中にも、意外なユーモアや他人の感性に何か面白みを感じる機会はあると思います。言葉に限らず、また他人がなんと言おうと、自分がが趣を感じるものを探してみると大切だと思います。改めて、最後まで読んでいただきことに感謝いたします。また、この記事を読むあなたが水泳部の後輩でないことを願います。最後に、筆者は今、熱を出しながらこの記事を書いています。皆さん、健康には気を付けつつ、寒い冬を共に乗り越えましょう。

面白いがギリギリ勝つていそうな部分を評価し、今回1位とさせていただきました。これは誰のセリフなんでしょうか？ イヤんという語尾にはなりますが、しづかちゃんは確か「たけしさん」と呼ぶはずですから、別の人物が言つていそうです。2位、3位より短めで言いやすいところも考慮し、今回のチャンピオンとなりました。

この記事を読むあなたが水泳部の後輩でないことを願います。最後に、筆者は今、熱を出しながらこの記事を書いています。皆様、健康には気を付けつつ、寒い冬を共に乗り越えましょう。

【趣味】ぬいの飽和

こんにちは、B4の杉本です。4月から山崎研究室に所属しているため、もう半年在籍することになる、といふのに時の流れのはやさを感じています。あと半年もしな

杉本 雛梨 (B4)

【趣味】ぬいの飽和

杉本 雛梨
(B4)

い内に卒研、卒業が迫つてゐるというのですから（そのまゝ大学院に進学しますが）恐ろしいです。

ここ4年間での変化として、ぬいぐるみを軽率に買うようになりました。巷ではぬい活等の流行りに伴い、かなり様々なコンテンツにおいて複数形態のぬいぐるみ、あるいはペペット、マスコット等の名称での布製品が展開されています。大学に入学する前に所持していたぬいぐるみは片手で数えられる程度であったのに対し、今は恐らく全身の指で数え切れない程度に我が家に存在しています。好きなコンテンツで商品展開が始まつた際に購入したのを皮切りに、複数存在する私が好きな、あるいは新しく好きになつたコンテンツにおいて好きなキャラクターのぬいぐるみに類するものが出ると、1点は買うようになつていきました。結果として、各ジャンルにおいての購入個数は少なくはありますが、ジャンル数とともに積み上がつた形になります。ぬいぐるみと言うと昔はある程度の大きさを持つたおもちゃとしての印象が強かつたかと思いますが、今は片手に収まるような、可愛らしくデフォルメされたものたちが通称ぬいとしてグッズからプライズまで沢山展開されているという印象です。ぬい達は私の中では物言わぬ質量として存在しているという認識ですが、固定された表情の中で十分な愛らしさを發揮してゐるよう思います。基本的にはキャラクターそのものでは無いと思っていますが、その要素が詰め込まれたある意味象徴のような偶像の形として質量を持つて存在しているのは、やはり缶や紙と言つた形態とは異なり大きな存在感があると言えるでしょう。イギリスにおいても、熊のぬいぐるみであるteddybearは単なる玩具ではなく、幼少から家族の一員として扱われる文化が根づいています。teddybearと過ごすことが幼年期の象徴になり、成長しても捨てずに大切に持ち続ける人が多く、アンティークベア市場が成立するほど、大人に愛される存在となつており、ぬいぐるみを人生と共に歩

Reyza Widiapradita (B4)

「」んにちは、B4のレイザです。最近は日(+)と/or/寒さが増し、今年も残り2ヶ月を切りました。」のよう/に季節の変化を感じるたびに、日本に来てから2年以上経つたことを改めて実感し、ふとホームシックになってしまい/ます。そんな時、少しだけ気持ちを和らげてくれるのが、故郷のインドネシア料理です。そこで今回は、東京近郊で楽しめるインドネシア料理のお店を3軒ピックアップしてご紹介したいと思います。それぞれ個性があるので、気分やシチュエーションに合わせて選んでみてください。

Hati Dua (ハチダウア) — 吉祥寺

【味】東京で出会うインドネシアの味

む相棒として扱う独特の価値観があります。近年のぬい活ブームにおいても、これと同じことが起きているのだろうと思います。キャラクターを身近に感じるファンアイテムとしてこれ以上無い形態と言えるでしょう。というような御託を並べ自らの状況を正当化していますが、管理が出来る数の内にどうにか収めておきたいものです。既に追加で幾つか届く予定ではありますが、少なくとも修士の2年間のうちに部屋がぬいぐるみで飽和するようなことはならない様に気をつけないと改めて思いました。

【味】東京で出会う「インドネシアの味

Reyza Widiapradipta (B4)

「」んにちは、B4のレイザです。最近は日」とに寒さが増し、今年も残り2ヶ月を切りました。このように季節の変化を感じるたびに、日本に来てもう5年以上経つたことを改めて実感し、ふとホームシックになってしまっています。そんな時、少しだけ気持ちを和らげてくれるのが、故郷のインドネシア料理です。そこで今回は、東京近郊で楽しめるインドネシア料理のお店を3軒ピックアップしてご紹介したいと思います。それぞれ個性があるので、気分やシチュエーションに合わせて選んでみてください。

Hati Dua (ハチデウア) — 吉祥寺

吉祥寺駅から徒歩3分の場所にある「Hati Dua」は、さすが吉祥寺という感じのオシャレでクールな雰囲気のお店です。ここはランチのみ（しかも1日20食限定!）という特別感があり、予算はランチセットで1,650円です。

私が注文したのは「アヤム・グブレック」（フライドチキンを漬したもの）のセット。メインの皿にはガドガド（ピーナツソースのサラダ）やナシ・クニン（黄色いご飯）などが乗つており、それとは別にマグカップに入つたソト・アヤム（鶏スープ）も付いていて豪華でした。

お店が「日本人の口にも馴染むよう工夫」していると謳

う通り、全体的に辛さを抑えた、とても食べやすい味付けです。サンバル（チリソース）もマイルドで、インドネシア料理が初めての人でも美味しく食べられるように見事にバランスが取られています。強いて言えば、アヤム・グアレックがガドガドのソースで少ししつとりしていましたが、味は良かつたです。

本場の強い味付けとは違いますが、それ自体が洗練された美味しい料理としてまとまっています。インドネシア料理が初めての方を連れて行くならこれがベストだと思います。**Kuta Bali Cafe**（クタ・バリ・カフエ）－八王子－ 京王八王子駅から徒歩9分の場所にある「Kuta Bali Cafe」は、現地の雰囲気が強いお店です。ホームページによると「バリをイメージした店内」とのことで、インドネシアの雰囲気を味わいながら食事が楽しめます。

訪れた時はインドネシア人のお客さんが多く、もちろん日本のお客さんもいて、地元に愛されている感じがしました。店名に「バリ」とありますが、料理はバリ島のものだけなく、インドネシア各地のものが揃っています。

訪れた時は友人から「アヤム・バカール（鶏肉のグリル料理）」が美味しい」と聞いて訪問しました。結果、その通りで、香ばしさと少しきりんぱいな味付けが本場の味を思い出させてくれる、とても美味しい一皿でした。ランチセットは約1,000円と、これでこの味はかなりお得だと思います。追加で頼んだ「ヤングココナツ」（約600円）は、果肉も入っていて甘く、リフレッシュに最適でした。「マイルドなのは物足りない、本場の味が食べたい！」という気分の時に間違いありません。八王子方面に行く用事があれば、ぜひ立ち寄つてみてほしいお店です。

Cinta Jawa Cafe（チハタ・ジャワ・カフエ）－新宿、涩谷など

「Cinta Jawa Cafe」は、新宿、渋谷、秋葉原、横浜など関東の主要駅の近くに多数展開しており、アクセスしやす

いのが最大の魅力です。

ホームページによると、オーナーが来日後、日本人向けにアレンジされたものではなく「本場の本当の味」が食べたくて、自分で料理を作り始めたのがこのお店の原点だそうです。「日本にいるインドネシアの人々、そして日本人の人々にも本当の味を食べてもらいたい」という想いが詰まっています。

店内は伝統的な装飾が施され、とても居心地の良い空間が広がっています。メニューが豊富で、ベビック・バカール（アヒルのグリル料理）やナシ・チャンプル・パダンなど、どれを選んでも安定して美味しいです。予算は1,300円から2,000円ほどみておくと良いでしょ。

私がいりに必ず頼むのが、サイドメニューの「バタゴー」と豆腐のピーナッツソースがけ）なのですが、これが絶品です。メインにプラスして、ぜひ試してみてください。友達と遊んでいて「急にインドネシア料理が食べたくなった」という時に、一番に思い浮かぶ便利なお店です。

とくに印象に残ったのは、ゴッホの死後、弟テオが作品を保管し、その妻ヨーが保存と普及に尽力したというエピソードです。展示されていたテオとヨーの帳簿には、ゴッホの作品の売買や展覧、収集にまつわる詳細な記録が記されており、数字のひとつひとつが「家族の献身」というテーマを静かに語っているようでした。作品が生まれ展示されるまでの「後ろ側」に、こんなにも多くの人の手があったのか、そんな思いが強く残りました。

画業を辿るセクションでは、初期の渋い色調から、パリや南仏での明るく奔放な筆づかいへと至る画風の変遷が段階的に示されています。実物を目にしたときに感じる色彩の強さや絵肌の厚み、塗り跡の生々しさは、書籍やポスターでは味わえない迫力があります。とくに南仏時代の作品では、黄色の鮮烈さ、青の深み、緑のねじれを帯びた動きが、風や光までも画面に取り込んでいるようで、「自然と対峙する画家」という印象が強まりました。



【美術】家族がつないだ画家の夢

宮寺由紀子（研究支援員）

はじめまして。9月より研究支援員として山崎研の一員になりました宮寺です。まだまだ至らない点も多いかと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。今回が研究室新聞への初投稿となります。何を書こうか迷った末、久しぶりに訪れた美術館での体験について綴りたいと思います。

先日、上野の東京都美術館で開催されている「ゴッホ展

家族がつないだ画家の夢」を鑑賞しました。この展覧会は、画家ゴッホの生涯や画業だけでなく、彼を支えた家族や作品を受け継いだ人々の視点から構成されており、これまで抱いていた「ゴッホ像」とはまた違った角度から光が当てられています。

店内は大きく三つの軸で構成されていました。（1）ゴッホの物語とコレクション継承、（2）ゴッホ自身の画業を追う流れ、（3）彼が影響を受けた画家や背景としての浮世絵などの文化的要素です。

展示は大きく三つの軸で構成されていました。（1）ゴッホの物語とコレクション継承、（2）ゴッホ自身の画業を追う流れ、（3）彼が影響を受けた画家や背景としての浮世絵などの文化的要素です。

展示は大きく三つの軸で構成されていました。（1）ゴッホの物語とコレクション継承、（2）ゴッホ自身の画業を追う流れ、（3）彼が影響を受けた画家や背景としての浮世絵などの文化的要素です。

もう一つ心に残つたのは、家族や周囲の支えに関する展示です。孤高の画家というイメージを持つていたゴッホですが、弟テオ、義妹ヨー、そして甥のウイレムらの存在が今日の評価につながっていることを知り、作品だけでなく彼を取り巻く“人”的物語にも胸を打たれました。展覧会の冒頭でこの背景が丁寧に語られていたため、その後の作品をより深く味わえる“視点”が自然と生まれたように思っています。

私は休日に訪れたため会場はかなり混雑しており、作品の前には人の波ができてきました。じっくり鑑賞したい方は、比較的空いている時間帯や早い時間帯の訪問をおすすめします。また、後半にはゴッホが影響を受けた画家の作品も展示されており、単なる“ゴッホ作品展”にとどまらない構成になつていて、興味深く感じました。

全体を通して、この展覧会は「知つていてるようで知らなかつたゴッホ」と出会わせてくれるものでした。ひまわりなどの強い筆づかい、誰もが思い浮かべるイメージの背後にある、変化の過程や支えた人々の物語を知ると、鑑賞の感動が一層深まります。作品を描いた人だけでなく、それを守り、伝えてきた人たちがいたことを思うと、絵の前で過ごす時間はより豊かになりました。

「知つていてる」から「感じる」へ。それを体験できるゴッホ展、芸術作品とその歴史、そして人の物語が重なる場として、おすすめしたい展覧会でした。

【人事】博士課程の学生を募集します

山崎 匡 (PI)

山崎研では、博士課程学生には学費（入学料+授業料前期後期3年分）相当を給料として支払います。次のようにします。副業規程に引っかかる場合は残念ながら無理です。

私たちの研究に興味があれば、見学・面談はいつでも歓迎します。来年度4月入学の入試は来年1月なので、まだ

示です。孤高の画家というイメージを持つていたゴッホですが、弟テオ、義妹ヨー、そして甥のウイレムらの存在が今日の評価につながっていることを知り、作品だけでなく

$282,000+3*(267,900+267,900)=1,889,400$ 円なので、この額を3で割つて、毎年63万円を給料として3年間支払う。税金で損しないように、手取りの額でそれだけ戻るようになります。

2 学費には免除制度があり、家庭の経済状況に応じて全額あるいは半額が免除されることがある。免除になつても給料の支払額はそのままとする。したがつて、免除されればその分余計に収入になる。

3 博士課程にはリサーチアシスタント (RA) という制度があり、採択されると年間48万円の給料が支払われる。採択されても給料の支払額はそのままとする。したがつて、採択されればその分余計に収入になる。

4 学振や民間の奨学金にも積極的に応募を勧める。副業規程にひつかからない限り、採択されればその分余計に収入になる。

5 授業や大学のイベントでティーチングアシスタント (TA) を担当してもらえば、その分の給料も追加で支払われる。

6 研究室の経済状況によってさらに給料を払うことも可能。実際のところ、扶養控除の範囲内ぎりぎりくらい払つてている。

7 留年した場合の学費は、その時の研究室の経済状況による。

間に合います。

【YouTube】脳シミュレーション解説

山崎 匡 (PI)

スパコン「富岳」のプロモーションの一環で、神経回路シミュレーションについて説明している。

「学術系Vtuberと学ぶ『富岳』全脳シミュレーション」
<https://www.youtube.com/watch?v=40IHU6MD0t4>



https://www.youtube.com/watch?v=M0GK-EIPDy4

